

第 41 回入学式式辞

今年は 3 月の終盤に一気に暖かくなって、桜も大慌てで開花しすっかり葉桜になってしまいました。それでも、桜山の桜は萌え出た若葉の中にその可憐な花をわずかに残して、皆さんの入学を待っていてくれたかのようです。

本日ここに、ご来賓ならびに保護者の皆さまのご臨席を賜り、神奈川県立逗葉高等学校第 41 期生の入学式を、挙行できました事は、私たち全職員にとって大きな喜びです。

ただ今入学を許可された新入生の皆さん、改めて、入学おめでとうございます。

日本国憲法では、小学校・中学校での教育は義務教育です。義務教育の義務とは、保護者をはじめとする大人が子供に教育を受けさせる義務を負うという意味です。皆さんには、教育を受ける権利が、法律によってあらかじめ与えられていたのです。

しかし、今日、皆さんはただ自動的に与えられた権利の行使としてではなく、自らの意思で、より高い知識や技能と深い教養を身につけるために、高等学校という「新たな学びの場」で学ぶことを選び、さらに受検によって選抜されて、この場にいます。

私は皆さんの、「学ぼう」という意欲に敬意を払います。そして逗葉高校のすべての職員が皆さんの「学ぼう」という意思を歓迎しています。

そもそも私たちはなぜ学ぶのでしょうか。太古の昔から、動物は経験と学習によって、生き延びてきました。何が食べられてどうすればそれを手に入れられるのか、何が危険でどうすればそれを回避できるのか…経験し学ぶことは生きることと直結していました。

現在の私たちにとっても、学びは生きることに通じています。いかに科学技術が発展しよう、私たちは食べなければ死んでしまいますし、病原体など私たちに危険をもたらす存在は決して消滅していません。

ですから、世界中でたくさんの方が、例えば、医療技術を向上させるために学び、その成果を広く社会に還元しようと取り組んでいます。

加えて、学びとは、ただ単に生きるのではなく、「良く」生きるための手段を手に入れる活動であるといえます。「良く」を「正しく」と言い換えることもできます。

ここで言う「正しく」とは、「失敗や誤りをしない」という意味ではありません。自分と違う立場や意見の人を攻撃するときに振りかざす「一方的な正義」などでは、尚更ありません。

「正しく」生きるとは、自分は何者なのか、何をしたいのか、何ができるのか、何をすべきなのかを、自分自身に真摯に問い、「なりたい自分」という目標の実現に向けて努力し、自らに誇りを持って生きることだと、私は思っています。そして、自分の周りには、自分同様に尊重されるべき多くの人々がいるということ認識し、思いやりを持って生きることだと思えます。

思いやるという行動は、非常に高度な精神活動です。今ここにいる 317 名それぞれが、それぞれの心を、確かに持っています。でも、心は見え、触ることもできません。そんな相手の心を思いやることは、学習さえも超える知的活動です。そしてその力を鍛えてくれる場の一つが学校です。

学校は、同世代の仲間が集う場です。様々な仲間の多様な個性や長所に気付き、自分の個性や長所を教えられる場です。人との関わり合いの中で、自分自身をよりよく知り、なりたい自分の姿を見つけるための様々な経験ができる場です。互いに相手を思いやり、尊重することの大切さや、共に伸びていくことのすばらしさを実感できる場です。

また、教師という大人が、教科の知識はもちろん、自身の経験を土台にした様々なことを、直接語りかけてくれる場でもあります。

ですから皆さんは、この逗葉高校での出会いや経験を大切に、様々な交流を通じて、「正しく」生きるための手段や選択肢をできるだけたくさん手に入れてください。

視野を広げ、学んだ知識や技能を知恵として活用する力を手に入れ、思いやりの心を磨いて自分自身と周りの人たちを豊かにするような人になってください。自分自身と周りの人たちを幸せにする人になってください。それが、高等学校で学ぶ皆さんの任務です。

そして、もう一つ決して忘れてはならないことは、この場にいるということには、大きな責任が伴うということです。義務でないにもかかわらず、皆さんの夢の実現に向けて、保護者をはじめ多くの方々が、皆さん意思を尊重し支援してくれたお陰で、皆さんは今この場にいるのです。

このことの意味を良くかみ締め、皆さんを支援してくれた、そしてこれからも支えてくれるであろう多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、自ら選択したことの責任を自覚し、高校でのあらゆる経験を成長の糧としてください。

最後になりますが、保護者の皆さま、改めて、本日は誠におめでとうございます。またお忙しい中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様、誠にありがとうございます。

逗葉高校は、日々「自ら考え判断できる力を伸ばし、豊かな人間関係の中で学べる学校」を目指し、職員一同一丸となって、誠心誠意、教育活動を展開してまいります。

保護者の皆さま並びにご来賓の皆様におかれましても、生徒たちの成長を温かく見守っていただくとともに、本校の教育活動にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願いいたします。

以上、本日入学された新入生の皆さんにとって、これから本校で過ごす3年間は、実り多く輝かしいものとなることを心より願い、私の話を終わります。

平成 30 年 4 月 6 日

神奈川県立逗葉高等学校
校長 大貫 晶子